3　ＦＥＣタイプは、このパケットのＡＬ―ＦＥＣ（あらかじめ生成した情報を用いて、抄出した情報を復元することをいう。以下同じ。）に関する情報を示すものとし、割当ては次表に示すとおりとする。

値	割当て
0	ＡＬ―ＦＥＣで保護しないＭＭＴＰパケット
1	ＡＬ―ＦＥＣで保護するＭＭＴＰパケットのうち、ソースパケット
2	ＡＬ―ＦＥＣで保護するＭＭＴＰパケットのうち、リペアパケット
3	未定義

4　拡張ヘッダフラグは、ＭＭＴＰパケットのヘッダ拡張を行わない場合を‘0’とし、ヘッダ拡張を行う場合を‘1’とする。

5　ＲＡＰフラグは、このＭＭＴＰパケットが伝送するＭＭＴＰペイロードがランダムアクセスポイントの先頭を含む場合を‘1’とし、それ以外を‘0’とする。

6　ペイロードタイプは、ＭＭＴＰペイロードのデータタイプを示すものとし、割当ては次表に示すとおりとする。

値	割当て
0x00	ＭＰＵ
0x01	未定義
0x02	1以上の制御メッセージを含む。
0x03―0x3F	未定義

7　パケット識別子は、ペイロードデータの種類を識別するために使用する領域とし、割当ては次表に示すとおりとする。

値	割当て
0x0000	ＰＡメッセージ
0x0001	ＣＡメッセージ
0x0002-0xFFFF	未定義

8　配信タイムスタンプは、このＭＭＴＰパケットの先頭バイトが放送局から出力される時刻をＩＥＴＦ　ＲＦＣ　5905に示される短形式ＮＴＰタイムスタンプで示すものとする。

9　パケットシーケンス番号は、同一のパケット識別子を持つＭＭＴＰパケットの順序とする。

10　パケットカウンタは、パケット識別子の値にかかわらず、同一のＩＰデータフローにおけるＭＭＴＰパケットの順序とする。

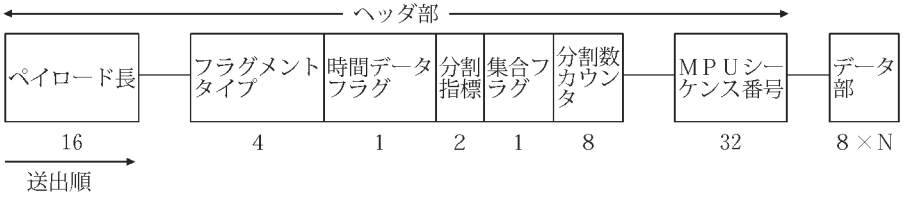
11　拡張ヘッダタイプは、拡張ヘッダ領域の拡張種別とする。

12　拡張ヘッダ長は、拡張ヘッダ領域のデータバイト数を書き込む領域とする。

13　拡張ヘッダ領域は、ヘッダ拡張のためのデータバイトとする。

14　ＭＭＴＰペイロードデータは、ペイロードタイプが0x00の場合は別記第1に、ペイロードタイプが0x02の場合は別記第2に示すとおりとする。

別記第1



注1　ペイロード長は、これより後に続くデータバイト数を書き込む領域とする。

2　フラグメントタイプは、ＭＭＴＰペイロードに格納する情報のフラグメント種別を示すものとし、割当ては次表に示すとおりとする。

値	割当て
0	ＭＰＵメタデータ
1	ムービーフラグメントメタデータ
2	ＭＦＵ（符号化した映像信号あるいは音声信号等の一部をいう。以下同じ）
3―15	未使用

3　時間データフラグは、ＭＭＴＰペイロードが格納するデータが提示時間を指定しないデータの場合は‘0’とし、提示時間を指定するデータの場合は‘1’とする。

4　分割指標は、ＭＭＴＰペイロードに格納するデータの分割の状態を示すものとし、割当ては次表に示すとおりとする。

値	割当て
‘00’	分割が行われていないもの
‘01’	分割が行われているもので、分割される前のデータの先頭部分を含むもの
‘10’	分割が行われているもので、分割される前のデータの先頭部分及び最終部分を含まないもの
‘11’	分割が行われているもので、分割される前のデータの最終部分を含むもの

5　集合フラグは、ＭＭＴＰペイロードに1のデータを格納する場合は‘0’とし、2以上のデータを格納する場合は‘1’とする。

6　分割数カウンタは、データが分割された場合、このＭＭＴＰペイロードが格納する部分より後にある分割されたデータ数を示すものとする。この値が255を超える場合は、再度‘0’から開始する。なお、集合フラグが‘1’の場合‘0’とする。

7　ＭＰＵシーケンス番号は、ＭＰＵメタデータ、ムービーフラグメントメタデータ及びＭＦＵを格納する場合、これらが属するＭＰＵシーケンス番号を示すものとする。

別記第2

